

行政課題

○課題名
U30と行政の距離を縮める広報～新たなコミュニケーション手法を実証したい！
(市長室広報課)

○実証プロジェクト
U30と行政をつなぐ名古屋市オンラインサロン

○解決したい課題
若年層へ情報が思うように届けられていない。

○実証事業者
株式会社スタメン
代表取締役 加藤 厚史
所在地: 名古屋市中村区
<https://stmn.co.jp/>

○実証内容
U30世代とのコミュニケーション方法として最適な手法を模索するとともに、オンラインサロンが広報手段として有効か検証を行う。



行政課題

○課題名
大規模災害時の電話に迅速に対応したい！自動音声応答システムの構築！
(スポーツ市民局広聴課)

○実証プロジェクト
AI音声技術を活用した災害時用電話応答システムの実証

○解決したい課題
大規模災害発生時、市民からの電話の問い合わせに対して、できる限り人員を使わずに、適切に対応したい。

○実証事業者
株式会社サイバーエージェント
代表取締役 藤田 晋
所在地: 東京都渋谷区
<https://www.cyberagent.co.jp/>

○実証内容
AI電話エージェントを活用し、災害時の即時立ち上げ、市民がほしい情報を正確かつ的確に伝えられるか、変化する状況に合わせて柔軟な対応ができるか検証を行う。



行政課題

○課題名

ベテランの技術を継承したい！南部市場及びと畜場のスマートファクトリー化
(経済局南部市場管理課)

○実証プロジェクト

ARマニュアルを活用したノウハウのデジタル化と技術伝承の実証

○解決したい課題

機械応急修繕にあたる技能職員が今後定年退職していくためベテラン職員の持つ機械設備等の修理の技術・技能を残し継承していきたい。

○実証事業者

イクスアール株式会社
代表取締役 蟹江真
所在地: 名古屋市中村区
<https://www.exr.co.jp/>

○実証内容

過去の機械設備の故障への対応など、と畜場の技能職員のノウハウを可視化し、後継者への伝承の仕組みを作ることで技術者育成が可能か検証する。



行政課題

○課題名

粗大ごみ収集ルートを作成をもっと簡単に！手書き地図からの脱却！
(環境局作業課)

○実証プロジェクト

AIを活用したルーティングアルゴリズムで業務効率化を目指す

○解決したい課題

粗大ごみの車両への割り振り、手書きの収集ルート作成は、担当者の負担が非常に大きい。また、収集時に、申込みの無い品目を誤収集する事案が発生している。

○実証事業者

SWAT Mobility Japan株式会社
代表取締役 末廣将志
所在地: 東京都中央区
<https://www.swatmobility.com/jp>

○実証内容

粗大ごみの収集業務におけるルート作成の時間短縮など効率化に寄与するか検証行う。



社会課題【グリーン化】

○課題名

堀川に浮かぶごみをなくしたい！川ごみのメカニズム解明と対策の実証

(緑政土木局河川計画課)

○実証プロジェクト

海洋ドローンによる浮遊ゴミの回収

○解決したい課題

「名古屋の母なる川 堀川」の再生に向けて、環境悪化の一因となっているごみをなくしたい！

○実証事業者

株式会社 平泉洋行

代表取締役社長 戸張 傳二郎

所在地: 東京都台東区

<http://www.heisengp.co.jp/>

○実証内容:

海洋ドローンJELLYFISHBOTの自動運転による浮遊ゴミの回収と、市民活動との連携の実証。



社会課題【DX】

○課題名

地域活動をアップデート！デジタル技術を活用し、持続可能な地域コミュニティを実現したい！

(スポーツ市民局地域振興課)

○実証プロジェクト

デジタル町内会の実証

○解決したい課題

地域コミュニティを持続可能なものとしていくために、負担の軽減や現役世代の参加を促進する必要があり、デジタル技術等を活用したい。

○実証事業者

株式会社スピード

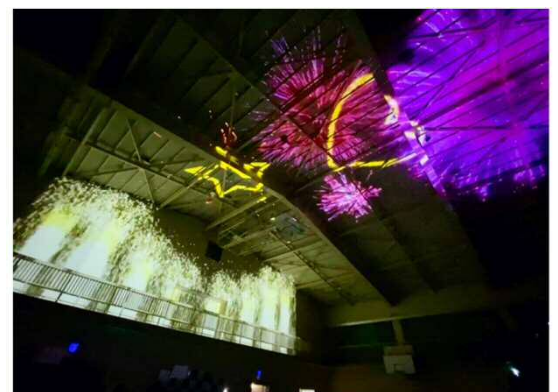
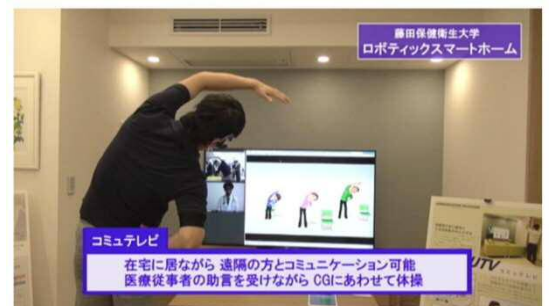
代表取締役 岩木 勇一郎

所在地: 愛知県瀬戸市

<https://speedinc-jp.com>

○実証内容:

町内会等で活動されている皆さんと若者をつなぐ、デジタル町内会システム「えんかく」を構築し、アバターを活用しながら、タブレット操作等をサポートするデジタルサポートヤングチームと新たな地域コミュニティの形成を実証。



社会課題

○課題名

「青果物流通の標準化」を見据え、効率のよい場内物流モデルを作成したい！
(経済局本場業務課)

○実証プロジェクト

AIカメラとトラッカーで市場本場青果棟のロジスティクス診断

○解決したい課題

中央卸売市場本場の青果棟周辺において、トラックの待機場所の不足、荷降ろし場所・荷積み場所の不足が積年の課題となっている。

○実証事業者:

佐川急便株式会社
代表取締役社長 本村 正秀
所在地: 京都府京都市
<https://www.sagawa-exp.co.jp/>

○実証内容

AIカメラとトラッカーを使用して青果棟への車両の入退場情報と映像データを用い、市場内の待機時間を可視化し、得られたデータを分析し、改善策を見出すことができるか検証する。



■物流倉庫のヒト・モノを見える化_PV付きカード型トラッカー

製品概要

- ・エナセラ+室内光太陽電池により給電不要
- ・屋内Wi-Fi/屋外GPSで位置把握
- ・LoRaWANで位置情報を通信

用途

物流倉庫内の作業員の配置・流れを見える化し、オペレーションの効率化、省人化に寄与



外観イメージ



社会課題

○課題名

待ったなしの部活動改革！子どもたちの成長と教員負担の軽減を両立したい！
(教育委員会部活動振興室)

○実証プロジェクト

AIを活用した専用アプリによる部活動効率化の実証

○解決したい課題

部活動に携わる教員の負担を軽減するため、より少ない指導者・より短い練習時間で効果的な指導を行うためのICT活用を図りたい。

○実証事業者:

ソフトバンク株式会社
代表取締役会長 宮内 謙
所在地: 東京都港区
<https://www.softbank.jp/corp/>

○実証内容

オンライン指導アプリ「スマートコーチ (ICT部活動支援)」、マネして学ぶセルフチェックアプリ「AIスマートコーチ」を試験導入し、子どもたちの主体的な学びの推進と教員の負担軽減につながるか検証する。



スマホで完結するスポーツ支援プラットフォーム

